

病院からのお知らせ

外来医師担当表

診療受付時間 平 日 午前 8:45~11:30 午後1:00~3:00
土曜日 午前 8:45~11:00

	月	火	水	木	金	土
内 科	脇田教授	中野准教授	高橋医師	脇田教授	1) 交代制	2) 交代制
緩和ケア・外科	東口教授 ※第一月曜 伊藤教授	白井教授	都築医師	伊藤教授	白井教授	伊藤教授
リハビリテーション科	岡崎准教授	岡本准教授	正木医師	園田教授	千手医師	3) 交代制
歯 科	金森講師	金森講師	金森講師	金森講師	休診	金森講師
ものわすれ外来 (予約制)	脇田教授 15:00~16:30 ※月1回 高橋医師		脇田教授 14:00~16:30		高橋医師 14:00~16:30 (再診のみ)	
セカンド オピニオン 外来	白井教授 癌全般、消化器疾患、栄養疾患 15:00~16:00 ※予約制	脇田教授 認知症、神経疾患 15:00~16:00 ※予約制				

- 1) 内 科 金曜日午前は第1、3、5週：中野准教授、第2、4週：高橋医師が交代で診察します。午後は中野准教授が診察します。
2) 内 科 土曜日は脇田教授・中野准教授・高橋医師が交代で診察します。
3) リハビリテーション科 土曜日はリハビリテーション科医師が交代で診察します。

職 員 募 集

2019年度 病院見学随時受付中

中途採用大歓迎です。採用試験は随時実施しています。
詳細はホームページをご覧ください。

お気軽に
お問い合わせ
ください。

お問い合わせ 総務課人事担当 059-252-3004 / hp-hp4@hp.fujita-hu.ac.jp



- 名古屋・伊勢方面から
近鉄名古屋線 久居駅下車、バス榊原温泉口・榊原車庫前行(下村経由)に乗車。
「七栗記念病院前」下車、徒歩5分 または、「七栗記念病院前」下車、徒歩1分
※「七栗記念病院前」のバス停については、停車しない時間帯があります。ご注意ください。
※バス乗車時間約20分、タクシー乗車時間約15分
- 大阪・京都方面から
近鉄大阪線榊原温泉口駅下車、タクシー乗車時間約15分
- 伊勢自動車道
久居インターチェンジより7km約10分

藤田医科大学 七栗記念病院
FUJITA HEALTH UNIVERSITY NANAKURI MEMORIAL HOSPITAL

編 集 藤田医科大学七栗記念病院広報委員会
発行人 園田 茂
〒514-1295 三重県津市大鳥町 424 番地 1
電 話 059-252-1555(代表)
F A X 059-252-1383
http://www.fujita-hu.ac.jp/HOSPITAL4/index.html

患者さんと医療をつなぐ

広報誌

ななくり

Pick up

ハイブリッド緩和ケア



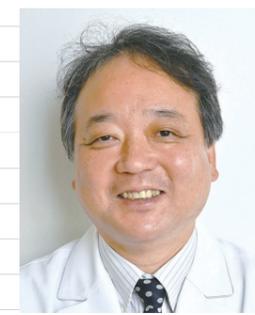
藤田医科大学 医学部
外科・緩和医療学講座
主任教授 東口 高志

私たちの教室「外科・緩和医療学講座」がわが国最初の緩和医療学の講座として、設立されて16年が経とうとしています。当初、私と現在本院の緩和ケアセンターを担当する村井美代病院講師との二人きりでのスタートでした。3ヶ月後に、伊藤彰博先生が赴任し外科と緩和ケアそして栄養サポートチーム(NST)を実践できる体制ができあがりました。私たちは、初の緩和医療学を担当する講座として、新しい学問である緩和医療学の確立と医学教育の改革、さらにこの三重の地で地域密着型の医療を展開すべく、周囲医療施設の先生方とface to faceの関係性を結べるように努力してきました。医局員も増加し、医業の幅を広げながら、さらに早期からの緩和ケアの実践を目指して、緩和ケア病棟に加え、がん治療を行いながら全人的な医療の展開が可能なハイブリッド型緩和ケア病棟を開業しました。そして、2019年3月には伊藤彰博先生が病院教授に昇格、翌4月には新たに白井正信先生が臨床教授として三重大学から赴任されました。このような人的に確固とした体制ができあがり、七栗記念病院の外科・緩和医療学講座はさらに皆さまのご要望にお応えできる診療科として邁進していきたいと思っております。



藤田医科大学 医学部
外科・緩和医療学講座
病院教授 伊藤 彰博

この度、七栗記念病院 病院教授を拝命いたしました伊藤 彰博と申します。外科・緩和医療学講座が開業され、程なく2004年七栗に赴任させていただき、早14年が経過いたしました。緩和医療も少しずつ変遷しております。単なる最期の看取りではなく、がん診断早期から質の高い緩和医療を実践する目的で、痛みをはじめとする様々な身体的症状に対する治療、精神的支援などを行うことはもちろんのこと、がん化学療法、がん患者が陥る悪液質に対する栄養サポートなどを併施しながら、QOL(生活の質)向上に努めております。



藤田医科大学 医学部
外科・緩和医療学講座
臨床教授 白井 正信

この度、外科・緩和医療学講座の臨床教授を拝命いたしました白井正信です。七栗記念病院担当で4月から勤務しております。藤田医科大学第3教育病院で伝統ある七栗記念病院に愛情をもって仕事をいたします。津市を中心とした地域医療の重要性を認識して、三重県の中勢地区を中心とした急性期病院と緊密に提携することで患者様に急性期から慢性期・終末期まで途切れることのない、安心できるがん治療・緩和治療を作り上げていきたいと考えております。そして中勢地区だけでなく三重県全域で緩和ケア病棟と言えば七栗記念病院が一番であると言われることを目標とします。全ては皆様の笑顔のために！を合い言葉に。



七栗記念病院・緩和ケア

身体(からだ)や精神(こころ)のつらさを少しでもやわらげて自分らしい人生を送るために

患者さんのつらい症状をやわらげるための医療を

緩和ケアの8つの柱

- 癒し環境の提供
- 全人的医療の実践
- 緩和ケアNST
(栄養サポートチーム)の設立
- コミュニティの構築
- 腫瘍学の導入
- 自立型地域医療連携の創設
- 情報共有と発進力の強化
- 幸せな人生の提示
(劇場型緩和ケアの開発)

■症状にあわせた栄養管理

栄養管理はケアの根幹と位置づけ、医師、看護師、管理栄養士などのチーム医療(NST)が口から食べることをサポートします。

■がん治療(ハイブリッド緩和ケア)

抗がん治療や腹水濾過濃縮再静注法などを積極的に行い、症状やQOLの改善を図っています。

■症状の緩和

痛みなどの症状緩和のために、薬剤の投与だけではなく、マッサージや東洋治療も行っています。



症状緩和



癒し



七栗記念病院 緩和ケア



栄養サポート

私たちは、「食」を「生きるちから」として、そして「生活の質を上げる重要なファクター」として理解し、最期まで適切な栄養管理に努めます。



がん患者の栄養

多くの患者さんは、がんやがん治療の影響のために十分な量の食べ物を摂取することができません。がんの治療前、治療中、治療後に正しい種類の食事を摂ることができれば、患者さんはより快適かつ活動的に生活できるようになります。七栗記念病院では、他職種との連携を行い患者さんの栄養管理・給食管理やQOL(生活の質)の向上に取り組んでいます。



緩和ケア食とは?

食事は「食べたい時に食べたいもの」を提供することを心掛けています。患者さん・ご家族からのリクエストの多いメニュー34種類を個別対応食とし、食事の聞き取りをとおしてご満足いただいております。



リハビリテーション

当院緩和ケアでのリハビリは、患者さん・ご家族のリハビリ目的に合わせて主治医・リハビリ科医師・療法士・看護師が共同し、患者さんへの負担を考慮しながら行なっております。動作の練習だけではなく、姿勢の助言、道具の活用、飲み込み・言葉の練習も行ないます。自宅に帰る場合は、可能な限り退院前在宅訪問・動作指導を行い、安全に生活できるよう関わらせていただきます。



リハビリテーションとは?

Rehabilitationは、re(再び、戻す)とhabilis(適した、ふさわしい)から成り立っており、単なる機能回復だけではなく、「人間らしく生きる権利の回復」や「自分らしく生きる」ために行われるすべての活動です。



当院の緩和ケアは、患者さんやご家族のご希望にお応えできるよう2つの入院体制を整えています。

緩和ケア

緩和ケア病棟

患者さんがご家族との人らしく過ごせるように、積極的な症状緩和や栄養療法を行っています。

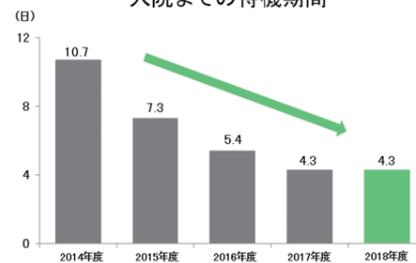
ハイブリッド緩和ケア

一般病棟

がん治療を続けている患者さんを対象に、一般病棟でありながらワンランク上の癒し空間の中で様々な緩和医療を提供しています。

入院後も、痛みや不安などの症状が和らいだときには自宅で過ごすことが可能です。また、地域と連携し、患者さんの状態にあわせた在宅支援を積極的に行っています。

入院までの待機期間



入院後の在宅移行率

